

～事業者支援のための実践的 OJT スキルアップ～ ベテラン支援担当者のための OJT能力向上研修

関西校

研修のねらい

企業経営の支援能力向上を目的としたOJTは、支援現場によって指導する知識やノウハウが異なるだけでなく、OJTの機会や場、指導者に求められる資質や能力も大きく異なります。そのため、指導者は体系的に「教え方」を学ぶことなく実施することが多く、結果として期待した成果が得られないという課題が見受けられます。本研修では、OJTの基本的なノウハウを理解した上で、支援能力向上に向けたOJTの実践的なポイントを学びます。また、インターバル期間中に実際の支援現場でOJTを実践し、その振り返りを通じて、現場に即したOJT実践のノウハウを習得します。

研修のポイント

- ☑ 事業者支援担当者育成の指導方法を体系的に学びます。
- ☑ 支援能力向上を図る OJT ノウハウを演習で身につけます。
- ☑ 現場での実践と振り返りを行い、OJT 実践のポイントを学びます。

研修期間

2026年
11/12(木)・11/13(金)
12/15(火)
(3日間、19時間)

対象者

- 中堅以上の指導員を対象に、事業者支援に関する OJT をより効果的に行うために必要なスキルや考え方を学びたい方

定員 30名

受講料 23,000円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング

月日	時間	科目	内容
11/12 (木)	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40	支援能力向上のためのOJT実践ノウハウ	支援現場において、指導者に求められる役割とOJTの重要性を理解するとともに、人材育成を効果的に進める上で知っておくべきOJTの実践ノウハウについて学びます。
	13:40-16:40	支援機関が行うOJTの考え方	支援能力向上のためのOJTを実施するためには、支援機関として支援人材育成の環境を整備する必要があります。効果的なOJTを実施するための前提となる支援人材育成の考え方、仕組みを学びます。
11/13 (金)	9:30-12:30	支援機関が行うOJTの取り組み	OJTの取り組み方法を、マネジメントする管理者やOJTを実施する指導者の視点で学びます。
	13:30-17:30	OJTの現場実践① ～自機関のOJT実践の準備～	これまで学んだことを活かして、インターバル期間にOJTを実践します。そこで、効果的なOJTを行うための準備をします。

約1ヶ月のインターバル期間

12/15 (火)	9:30-12:30	OJTの現場実践②前半 ～自機関のOJT実践の振り返りと改善～	インターバル期間で実践したOJTを振り返り、今後の改善策を検討します。 ※埼玉県商工会連合会 黒澤指導員より事例共有
	13:30-16:30	OJTの現場実践②後半 ～自機関のOJT実践の振り返りと改善～	インターバル期間で実践したOJTを振り返り、今後の改善策を検討します。 ※埼玉県商工会連合会 黒澤指導員より事例共有
	16:30-16:40	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：19時間20分

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

※講義終了後に、最新の支援施策情報も紹介する場合がございます。(5～10分程度)

講師紹介(敬称略)



フレイヤ・コンサルティング
代表

豊田 信 (とよだ あきら)

中小企業診断士。広告代理店勤務を経て、1998年経営コンサルタントとして独立。酒類業、フランチャイズビジネス、ベンチャー企業育成を主要領域に企業支援の実績多数。2011年より5年間、中小機構全国支援ネットマネージャーを務め、全国の商工会などを対象とした支援機関支援に携わる。専門家派遣による小規模企業支援の実績も多い。中小企業大学校講師、事業再生士補、知的資産経営認定士。



(一社)埼玉県商工会議所連合会
広域指導員

黒澤 元国 (くろさわ もとくに)

大学卒業後、大手流通会社、大滝商工会(当時)、秩父商工会議所を経て2021年4月から埼玉県商工会議所連合会広域指導員。県内の事業者支援と支援担当者育成を手掛ける。中小企業診断士の資格を持つ。中小企業庁の「伴走支援の在り方検討会」や「中小企業収益力改善支援研究会」などの委員などを務める。

- 豊田先生からOJTの型を、黒澤先生からOJTの実践方法を学べた。
- 全国の支援担当者とのネットワークができた。